



I 生きがいを見つける Information C 心つながる Communication T ともに学ぼう Technology

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：富田達夫）は8月25日、「情報セキュリティ10大脅威 2020」を公開しました。これは、2019年に発生した社会的に影響が大きかったと考えられる**情報セキュリティにおける事案**から、IPAが脅威候補を選出し、情報セキュリティ分野の研究者、企業の実務担当者など約140名のメンバーからなる「10大脅威選考会」が脅威候補に対して審議・投票を行ない、トップ10を選出したものとなっています。

## ■「情報セキュリティ10大脅威 2020」(個人) (カッコ内は昨年順位)

1位	スマホ決済の不正利用 (New)
2位	フィッシングによる個人情報の詐取 (2位)
3位	クレジットカード情報の不正利用 (1位)
4位	インターネットバンキングの不正利用 (7位)
5位	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求 (4位)
6位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害 (3位)
7位	ネット上の誹謗・中傷・デマ (5位)
8位	インターネット上のサービスへの不正ログイン (8位)
9位	偽警告によるインターネット詐欺 (6位)
10位	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取 (12位)

ちなみに「組織編」では次のような順位になっています。

## ■「情報セキュリティ10大脅威 2020」(組織)

1位	標的型攻撃による機密情報の窃取 (1位)
2位	内部不正による情報漏えい (5位)
3位	ビジネスメール詐欺による金銭被害用 (2位)
4位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃用 (4位)
5位	ランサムウェアによる被害 (3位)
6位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止 (16位)
7位	不注意による情報漏えい (規則は遵守) (10位)
8位	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取 (7位)
9位	IoT機器の不正利用 (8位)
10位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止 (6位)

## 今月の話題

### マイナポイント導入開始

先月号の「パソコンわわかりやすい用語辞典」でもご紹介した「マイナポイント」ですが、9月1日からスタートしています。

マイナポイントとは、マイナンバーカードを使って予約・申込を行



い、自分で選んだキャッシュレス決済サービスでチャージやお買い物をする、そのサービスでご利用金額の25%分のポイントがもらえるのが「マイナポイント」のしくみです。(お一人あたり5,000円分が上限です)

主な手順は次の通りです。

1) **マイナンバーカードを取得**すること

- 2) マイナポイントを予約すること
- 3) マイナンバーカードを使って次のいずれかの支払方法を1つ選ぶこと

- ・クレジットカードやデビットカード
- ・Suica などの電子マネー
- ・PayPay や LINE Pay、メルペイ、ゆうちょ Pay、au Pay などの QR コード決済

## 今月の質問

### このビデオはいつですか？

最近、Facebook のメッセージに「友だちから動画が送られてきた」という相談が増えています。

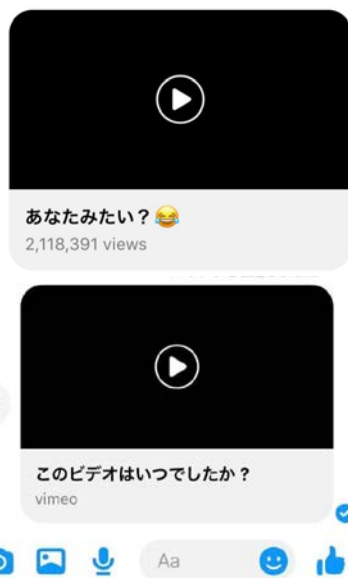
- 「あなたが映っている可能性のあるビデオがあります」
- 「あなたみたい？」
- 「このビデオはいつでしたか？」
- 「あなたはこのビデオに出演していると思います」などの文面が多いようです。

うっかり開いてしまうと、「この動画を再生するにはプログラムをインストールする必要があります」などのメッセージが表示され、アプリなどをインストールさせようとする。もしアプリをインストールする手前で踏みとどまったとしても、友だちに同様のメッセージを送る不正プログラムが入って

しまい、今度は自分が友だちにこのメッセージを送ることになってしまったりします。

もしうっかり開いてしまったり、自分が送っていないメッセージが友だちに届いているようだったら、被害を広げないように、一刻も早く自分から友だちに「そのメッセージ開けないで」と知らせてあげましょう。

また友だち本人はまったく気が付いていない場合もあります。このようなメッセージを友だちからもらったなら、「こんなメッセージがきたけど、もしかして被害にあっていませんか？」と早めに教えてあげましょう。



## 用語辞典

### フィッシング (詐欺)

コロナ禍で外出を控え、オンラインショッピングの授業が増加しています。

今や私たちの生活とは切り離せないものになってきた、オンラインのサービス。同時に、トラブルに巻き込まれる確率も高くなってきます。

フィッシングとは、実在の企業や組織、店舗名などを騙って、個人情報やパスワード、カード情報などを不正に入手しようとする詐欺のことを言います。

フィッシング詐欺 (phishing) とは、偽のメールや

SMS を餌に情報を釣り上げる「釣り (fishing)」と、「洗練されている (sophisticated)」を合わせた造語です。最近のメールや SMS は、本物との違いが分からず、簡単に見分けることが難しくなりましたが、次のような点を注意してみましょう。



- メールや SMS が届いた時は、それが登録した・利用した覚えのあるサービスか？
- 文面や表現の仕方に違和感はないか？
- 「緊急」「不正アクセスがありました」など、焦らせようとする内容ではないか？
- 個人情報入力の際は、暗号化（アドレスバーに鍵や錠前のマークが表示される）されたページかどうか確認
- 身に覚えのない料金請求や督促は連絡を取らずに無視する

フィッシング詐欺にあい、情報を入力してしまった場合は、関連する金融機関やクレジットカード会社などに連絡しましょう。

被害が発生しているなら、各自治体の「都道府県警察本部サイバー犯罪相談窓口」へ (<https://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>)

# ★大人の★ スマホ活用術



## クラウドについて Vol.08

スマホをお使いの方も、これからの方も。パソコンプラザのスマホ活用アドバイザーが12回にわたって連載記事をお届けします。

\* \* \* \* \*

「クラウド」という言葉を聞かれたことがありますか？ スマホをお使いならぜひとも利用したいサービスの一つです。

例えばスマホで写真を撮ったとします。その写真が保存されるのはどこでしょう？ もちろんスマホ本体の中ですね。

では、そのスマホを紛失したり、壊してしまったり、ある日電源がつかなくなったりして、スマホが使えなかったらその写真はどうなるでしょう……。二度と取り返すことはできません。たくさんの思い出が消えてしまいます。

でももし、「スマホ本体」以外の場所に写真が保存されるとしたらどうでしょう。写真がスマホ本体とは別に保存されていれば、仮に手元のスマホがなくなっても、写真は残るのです。

「スマホ本体」以外の場所 = 「クラウド」<sup>①</sup>を利用すれば、それが可能になるのです。

2020年5月号「写真の整理」でご紹介した「Google フォト」はクラウドサービスの代表的なものです。スマホで撮った写真や動画を、インターネット上に無制限に保存しておくことができます。

スマホをお使いでしたら、必ず入れておきたいアプリです。

クラウドを利用するということは、インターネット上に自分専用の貸倉庫を持つようなものです。この貸倉庫のことを特別に「ストレージ」<sup>③</sup>といいます。

storage とは英語で「倉庫」のことです。貸倉庫には鍵をかけて使います。鍵がかかっていない倉庫は、安全に使うことができませんね。

この倉庫のカギにあたるものを「アカウント」<sup>②</sup>といいます。クラウドを利用するには必ずアカウントが必要です。

一般的に「メールアドレス」+「パスワード」の組み合わせをアカウントといいます。メールアドレスだけ、パスワードだけではアカウントとは言いません。

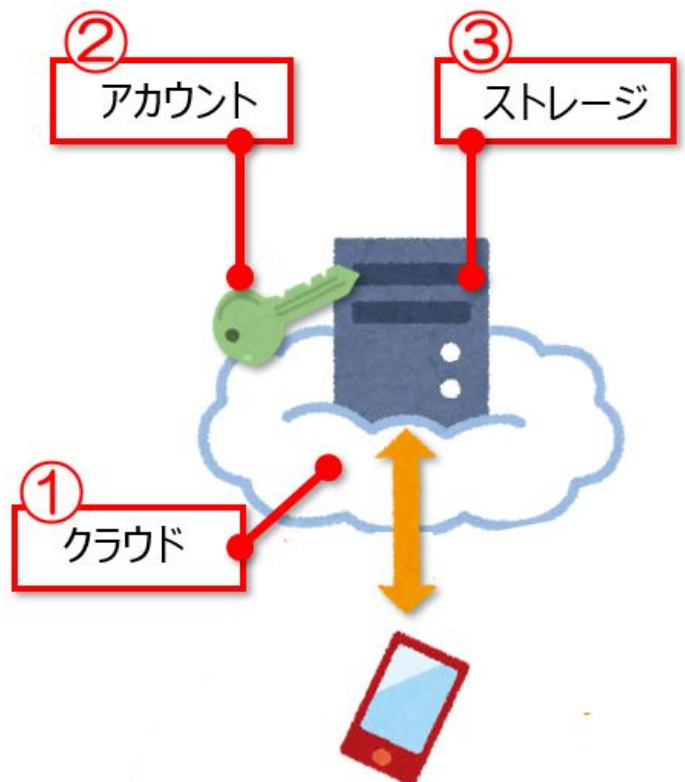
世の中に、クラウドサービスは数多く存在しますが、iPhone や iPad の人には Apple 社が提供する iCloud (アイクラウド) という専用サービスがあります。利用するには Apple ID (アップルアイディー) というアカウントが必要です。

Apple ID は Apple 社の製品 (iPhone、iPad など) をお使いの方が利用することができます。

Android のスマホをお使いの人には Google 社が提供する Google ドライブ (グーグルドライブ) というサービスがあります。利用するには Google アカウントという鍵が必要です。Google のサービスは iPhone の方も利用することができます。

もし、G メール (\*\*\*\*\*@gmail.com) というメールアドレスをお持ちでしたら、その G メールとパスワードのセットが Google アカウントです。

まずは Google フォトを利用するあたりから、クラウドと付き合ってみてはいかがでしょうか。鍵さえあれば、スマホからでもパソコンからでも、貸倉庫に預けた自分の写真を見ることができますよ。



(パソコンプラザ/スマホ活用アドバイザー・増田由紀)